



REST API を使用したフローティング L3Out の構成

- [REST API を使用したフローティング L3Out の VLAN プールの構成 \(1 ページ\)](#)
- [REST API を使用した VMware VDS の VMM ドメイン プロファイルの構成 \(2 ページ\)](#)
- [REST API を使用したレイヤ 3 ドメインの構成 \(3 ページ\)](#)
- [REST API を使用したフローティング L3Out の構成 \(3 ページ\)](#)
- [REST API を使用した セカンダリ IP の構成 \(4 ページ\)](#)
- [REST API を使用した IPv4 と IPv6 で同じ VLAN カプセル化の構成 \(4 ページ\)](#)
- [REST API を使用した ACI 内部エンドポイントからフローティング L3Out への最適でないトラフィックの回避の構成 \(5 ページ\)](#)
- [REST API を使用したファブリックでルートを再配布するためのパスの最大数の構成 \(6 ページ\)](#)
- [REST API を使用した複数のネクストホップの構成 \(6 ページ\)](#)

REST API を使用したフローティング L3Out の VLAN プールの構成

このセクションでは、外部ネットワーク接続のフローティングレイヤ 3 (L3Out) で使用する VLAN プールを特別に構成する方法を示します。

手順

フローティング L3Out の VLAN プールを構成するには

例 :

```
<fvnsVlanInstP name="vlanPool1" allocMode="dynamic">
```

次のタスク

VMware VDS の VMM ドメインプロファイルを構成する [REST API を使用した VMware VDS の VMM ドメイン プロファイルの構成 \(2 ページ\)](#) の手順を参照してください。

REST API を使用した VMware VDS の VMM ドメイン プロファイルの構成

VMware vSphere Distributed Switch (VDS) の Virtual Machine Manager (VMM) プロファイルをまだ作成しておらず、フローティングレイヤ 3 外部ネットワーク通信 (L3Out) を使用する場合は、この手順を使用します。



- (注) フローティングレイヤ 3 外部ネットワーク接続 (L3Out) を使用する場合は、VMM ドメインの静的 VLAN 範囲を持つ VLAN プールを構成する必要があります。また、VLAN プールは L3Out ドメインの VLAN プールと同じである必要があります。たとえば、L3Out ドメインと Virtual Machine Manager (VMM) ドメインの範囲は、いずれも 200 ~ 209 にする必要があります。

手順

VMware VDS の VMM ドメインプロファイルを構成するには：

例：

```
<polUni>
  <vmmProvP vendor="VMware">
    <vmmDomP name="FTD">
      <infraRsVlanNs tDn="uni/infra/vlanns-[vlanPool1]-dynamic" />
      <vmmUsrAccP name="creds" usr="administrator@vsphere.local" pwd="N1k@12345" />
      <vmmCtrlrP name="vcenter" rootContName="Datacenter" hostOrIp="10.197.145.212"
status="created,modified">
        <vmmRsAcc tDn="uni/vmmp-VMware/dom-FTD/usracc-creds" />
      </vmmCtrlrP>
    </vmmDomP>
  </vmmProvP>
</polUni>
```

次のタスク

レイヤ 3 ドメインを構成します。 [REST API を使用したレイヤ 3 ドメインの構成 \(3 ページ\)](#) の手順を参照してください。

REST API を使用したレイヤ 3 ドメインの構成

レイヤ 3 外部ネットワーク接続 (L3Out) を作成する前に、レイヤ 3 ドメインを作成します。

手順

レイヤ 3 ドメインを設定するには、次の手順を実行します。

例：

```
<l3extDomP name="L3Dom">
  <infraRsVlanNs tDn="uni/infra/vlanns-[vlanPool1]-dynamic" status=""/>
</l3extDomP>
```

次のタスク

フローティング L3Out を構成します。手順「[REST API を使用したフローティング L3Out の構成 \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

REST API を使用したフローティング L3Out の構成

このセクションでは、REST API を使用してフローティング L3Out を構成する方法を示します。

手順

フローティング L3Out を構成するには：

例：

```
<fvTenant name="t1" status="">
  <fvCtx name="inb"/>
  <l3extOut name="l3out" status="">
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-L3Dom"/>
    <l3extInstP name="instPP">
      <fvRsCons tnVzBrCPName="inb-mgmt-allow-all-contract"/>
    </l3extInstP>
    <l3extLNodeP name="borderLeaf">
      <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="10.10.10.11" status=""/>
      <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-102" rtrId="10.10.10.12" status=""/>
      <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-103" rtrId="10.10.10.13" status=""/>
      <l3extLIIfP name="phyDom">
        <l3extVirtualLIIfP descr="" encap="vlan-638" nodeDn="topology/pod-1/node-101" mode="regular"
          addr="11.11.11.11/24" ifInstT='ext-svi' status="">
          <l3extRsDynPathAtt tDn="uni/phys-Floating-L3out" floatingAddr="11.11.11.12/24" status="">
          <l3extIp addr="12.12.12.100/24" status=""/>
        </l3extRsDynPathAtt>
        <l3extIp addr="12.12.12.14/24" status=""/>
      </l3extLIIfP>
    </l3extLNodeP>
  </l3extOut>
</fvTenant>
```

```

</l3extVirtualLIIfP>
</l3extLIIfP>
</l3extLNodeP>
<l3extRsEctx tnFvCtxName="inb"/>
</l3extOut>
</fvTenant>

```

次のタスク

フローティング L3Out 構成を確認します。

REST API を使用した セカンダリ IP の構成

このセクションでは、REST API を使用してセカンダリおよびフローティングセカンダリ IP を構成する方法を示します。

手順

セカンダリおよびフローティングセカンダリ IP を構成するには、次の手順を実行します。

```

<l3extVirtualLIIfP mtu="9000" addr="20.20.20.21/24" encap="vlan-1030" nodeDn="topology/pod-1/node-101"
  ifInstT="ext-svi" status="">
  <l3extIp addr="11.11.11.1/24"/>
  <l3extRsDynPathAtt tDn="uni/phys-physDom1" floatingAddr ="20.20.20.1/24">
  <l3extIp addr="11.11.11.2/24"/>
  </l3extRsDynPathAtt>
</l3extVirtualLIIfP>.

```

REST API を使用した IPv4 と IPv6 で同じ VLAN カプセル化の構成

このセクションでは、同じ VMM ドメインを使用して、IPv4 と IPv6 の両方のアドレスファミリーに同じ VLAN カプセル化を構成する方法を示します。

手順

IPv4 と IPv6 に同じ VLAN カプセル化を構成するには：

```

<l3extOut enforceRtctrl="export" mplsEnabled="no" name="l3out1">
  <l3extLNodeP name="l3out1_nodeProfile">
  <l3extLIIfP name="l3out1_interfaceProfile">

```

```

<l3extVirtualLIfP addr="60.60.60.1/24" encap="vlan-100" nodeDn="topology/pod-1/node-101">
  <l3extRsDynPathAtt floatingAddr="60.60.60.100/24" tDn="uni/vmmp-VMware/dom-vmmDom1"/>
</l3extVirtualLIfP>
</l3extLIfP>

<l3extLIfP name="l3out1_interfaceProfile2">
  <l3extVirtualLIfP addr="2021::1/64" encap="vlan-100" nodeDn="topology/pod-1/node-101">
    <l3extRsDynPathAtt floatingAddr="2021::100/64" tDn="uni/vmmp-VMware/dom-vmmDom1"/>
  </l3extVirtualLIfP>
</l3extLIfP>
</l3extLNodeP>
</l3extOut>

```

上記の構成で使用されるアドレスの例は、IPv4 の場合は 60.60.60.1、IPv6 の場合は 2021::1 です。VLAN カプセル化は両方とも 100 です。

REST API を使用した ACI 内部エンドポイントからフローティング L3Out への最適でないトラフィックの回避の構成

このセクションでは、REST API を使用してネクストホップ伝達と直接接続されたホストルートアドバタイジングを構成する方法を示します。

始める前に

次を設定する必要があります。

- ネクストホップ伝播させるには、フローティング L3Out が VMM ドメインではなく、物理ドメインにある必要があります。
- BD、EPG、および EPG と L3Out EPG 間のコントラクト

手順

ステップ 1 ネクストホップ伝達を構成するには：

例：

```

<rtctrlSetNhUnchanged annotation="" childAction="" descr="" extMngdBy="" lcOwn="local" modTs="never"
name="" nameAlias="" rn="nhunchanged" status="created" type="nh-unchanged" uid="0"/>

```

ステップ 2 直接接続ホストルートアドバタイジングの構成：

例：

```

<l3extRsRedistributePol annotation="" childAction=""
dn="uni/tn-neo/out-neoL3Out/rsredistributePol-[sap-rtmap]-am" extMngdBy="" forceResolve="yes"

```

```
lcOwn="local" modTs="never"monPolDn="" rType="mo" rn="" src="am" state="unformed" stateQual="none"
status="created"tCl="rtctrlProfile" tContextDn="" tDn="" tRn="" tType="name"
tnRtctrlProfileName="sap-rtmap" uid="0"/>
```

REST API を使用したファブリックでルートを再配布するためのパスの最大数の構成

さらに多くのパスを設定できるようにする 2 つのプロパティは、`bgpCtxAfPol` オブジェクトの `maxEcmp` と `maxEcmpIbgp` です。これら 2 つのプロパティを設定した後、実装の残り部分に反映されます。ECMP ポリシーは VRF レベルで適用されます。

次の例では、REST API を使用して BGP 最長パス機能を設定する方法の情報を提供します。

始める前に

次のフィールドの許容値については、Cisco APIC ドキュメンテーションページの『Verified Scalability Guide for Cisco APIC』を参照してください。<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/application-policy-infrastructure-controller-apic/tsd-products-support-series-home.html>

手順

ファブリックでルートを再配布するためのパスの最大数を設定するには、以下のように登録します。

```
<fvTenant descr="" dn="uni/tn-t1" name="t1">
  <fvCtx name="v1">
    <fvRsCtxToBgpCtxAfPol af="ipv4-ucast" tnBgpCtxAfPolName="bgpCtxPol1"/>
  </fvCtx>
  <bgpCtxAfPol name="bgpCtxPol1" maxLocalEcmp="16"/>
</fvTenant>
```

REST API を使用した複数のネクストホップの構成

手順

複数のネクストホップを構成するには、次を送信します。

```
<fvTenant dn="uni/tn-t1">
  <rtctrlAttrP name="s1">
    <rtctrlSetRedistMultipath/>
  </rtctrlAttrP>
</fvTenant>
```

```
</rtctrlAttrP>  
</fvTenant>
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。